

関市ふるさと応援アスリートに ラグビー元日本代表選手2人を委嘱

このほど、関商工高ラグビー部OBで、ラグビー元日本代表選手として活躍されましたサントリーの武山哲也氏と尾関弘樹氏を、「関市ふるさと応援アスリート」に委嘱しました。

この「関市ふるさと応援アスリート」とは、関市出身または関市との関わりがあったスポーツ選手（プロ・アマ、現役・引退、企業所属等一切問わない。チームも含）を関市ふるさと応援アスリートに委嘱し、スポーツの楽しさ、健康づくりの大切さを市民の皆さんに伝えていただくとともに、子供たちがスポーツへの関心を深めることの手助けをしていただくもので、平成27年度より実施しております。

武山氏は関市長住町出身の50歳、尾関氏は各務原市出身の47歳で、ともに関商工高等学校ラグビー部OBで、高校日本代表に選抜され、日本体育大学へ進み、その後、サントリーに入社してラグビー選手として活躍され、日本代表選手にも選ばれました。

武山氏は、現役引退後、チームディレクターを務められ、現在は、サントリー酒類株式会社に勤務。また、尾関氏は、現在、先のラグビー日本選手権で優勝したサンゴリアスのゼネラルマネージャーを務めておられます。

関市は、ラグビーワールドカップ2019日本大会の公認チームキャンプ地に立候補しており、お二人には、ラグビー教室や講演会などをお願いし、ラグビー熱の盛り上げにお力添えをいただく予定です。



武山哲也氏



尾関弘樹氏